



学校便り



浅海

松山市立浅海小学校

2019.7.5

ツバメ物語

校長 芳野 妙 美

今年も浅海小学校にツバメが巣を作りました。場所は、体育館と校舎をつなぐ渡り廊下のひさし部分です。かなり高いところなので、ひなたたちの様子をなかなか見ることはできません。しかし、この最近ひなが大きくなったのか、頭の毛と時折開ける口の部分が見えるようになってきました。朝、子どもたちと観察していると、警戒した親がひっきりなしに巣の近くを往復します。

ツバメは幸せを運ぶ鳥と言われ、ツバメが巣を作ると「縁起がよい」とも言われます。インターネットで検索してみると、古くから稲作が盛んな日本では、農作物に付く虫を食べてくれるツバメは大歓迎だったということです。また、ツバメは外敵から身を守る力が乏しいので、居心地がよく安全だと思える場所、つまり自分たちを守ってくれる場所を選んで巣を作ります。ですから、浅海小学校が選ばれたということは、本校は「安全で繁栄している、運氣もよい」ということでしょうか。そう思うと、多少の糞の害も許そうという気持ちになります。



【浅海小学校のツバメの巣】

ツバメで思い出す悲しい物語があります。それは、「幸福な王子」というアイルランドの作家オスカー・ワイルドが書いた子ども向けの物語です。文字が一通り読めるようになっていたので、低学年の頃に読んだのだと思いますが、あまりに悲しくて最後には泣いていたのを覚えています。

【「幸福な王子」あらすじ】 * 「幸福の王子」という表現もあります。

ある町の中心にそびえ立つ王子の像がありました。王子は苦勞や悲しみの中にある人々のために、自分の像に埋め込まれている宝石や体を覆っている金箔を分け与えます。それを人々のもとへ運ぶのがツバメです。最後には分け与えるものもなくなり、王子はみすぼらしい姿になってしまい、ツバメは南に渡っていく時期を逃して凍え死んでしまいます。

究極の自己犠牲と博愛、そしてラストの哀愁・・・幼かった私の心で受けとめるにはあまりに重いテーマでした。しかし、この物語も「ツバメが幸せを運ぶ」役を果たしていることから、巣にまつわる話と合わせて、ツバメという鳥がもつ共通のイメージを感じます。それは、「幸福」です。

我が家にも10年ほど前に、玄関にツバメの巣が作られ、ひなたたちの成長と巣立ちを間近で見守った経験があります。巣立ちの後、ひなたたちはしばらく庭から離れませんでした。親と共に庭の木々を渡っていましたが、合図でもあったかのように、突然私の上空を旋回して遠くへ行ってしまうました。別れの挨拶だと思ったものです。寂しさと巣立ちを喜ぶ気持ちが複雑に交じり、しばらく空を探しました。今思うと、何と幸せな瞬間に出会えたことか・・・。浅海小学校のひなの巣立ちが楽しみです。

AOT

ASANAMI ORANGE TIME
～浅海オレンジタイム～



【1・2年生生活科グループ】
砂浜に思い思いの絵を描いたり、自作の船を浮かべたりしました。



【釣りグループ】
竿を持つ姿はまるで「太公望」。浅海の家ではどんな魚が釣れるでしょう。



【塩グループ】
浅海の海水から塩を取り出したり、その塩を使ってアイスを作ったりしました。



【生き物調べグループ】
捕まえてきた生き物について、顕微鏡やタブレットを使って調べました。



【ものづくりグループ】
見ているだけでも素敵な貝やシーグラス、流れ着いた物で小物を作りました。



【全校発表会】
今年の新しい発見は!? 調べたり、経験したりしたことを発表しました。

みんなで掴んだ勝利!!



6月10日(月)、姫山小学校で延期となっていた市総体相撲の部が行われました。今年の「チーム浅海」は少し違います。個人戦、団体戦共に素晴らしい勝利を収めることができました。市総体は、7月に水泳、10月に陸上と続きます。全力で頑張る浅海っ子に期待しています。

6月PTA活動(救命救急講習・ディスコン大会)

6月16日(日)、北条消防署、浅海地区女性消防団から講師の方をお迎えして心肺蘇生講習会を実施しました。6月22日(土)には、北条北中学校で北条地区PTAディスコン大会が行われ、「浅海①チーム」がAブロックで優勝しました。たくさんの方に参加していただきました。ありがとうございました。